

特定非営利活動法人 宇都宮市国際交流協会 中期経営計画

I 組織の概要

平成27年4月1日現在

1. 団体の基礎情報												
所在地	宇都宮市馬場通り4-1-1うつのみや表参道スクエア5階					設立年月	平成9年4月					
市所管課	市民まちづくり部 国際交流プラザ					代表者	理事長 臼井佳子					
ホームページアドレス	http://www.ucia.or.jp/											
基本財産(資本金)	—		主な出資者			出資額		出資割合				
市出資額	—		—			—		—				
市出資割合	—		—			—		—				
設立目的等	市民主体の国際交流活動の推進											
主な事業	<ul style="list-style-type: none"> 国際交流・多文化共生に関する研修・講習会及び啓発事業 国際交流・多文化共生に貢献できる人材の育成 外国人住民、留学生との交流及び相談・支援事業 											
2. 団体の組織・人員情報												
役職員数	役員				職員							
	常勤	理事	1	1	正規職員等				嘱託・臨時職員等			
		監事	0	0	正規職員	0	0	嘱託職員	6	0		
	非常勤	理事	24	0	再雇用職員(フルタイム)	0	0	再雇用職員(短時間)	0	0		
		監事	2	0	派遣等職員	0	0	臨時職員等(アルバイト等も含む)	10	0		
	計	27	1	計	1	1	計	16	0			
役員	平均年齢(歳)	60.0	役員	平均年収(千円)	-	情報公開制度の有無				○		
職員	平均年齢(歳)	-	職員	平均年収(千円)	-	個人情報保護体制の有無				○		
3. 財務状況												
貸借対照表から	項目	金額(千円)			備考							
		24年度決算	25年度決算	26年度決算								
	総資産	16,601	17,402	うち損失補償等を行っている額(千円)		0						
	負債	477	652									
	純資産	16,124	16,750									
(うち利益剰余金)	1,107	625										
※一般財団等は、純資産を正味財産合計、利益剰余金を一般正味財産として読み替えています。												
損益計算書から	項目	金額(千円)			備考							
		24年度決算	25年度決算	26年度決算								
	総収入	44,519	43,479									
	(うち市補助金等)	12,212	12,047									
	(うち市委託料等)	22,729	22,318									
経常損益	2,415	2,158										
当期損益	1,107	625										
※一般財団等は、損益計算書を正味財産増減計算書、経常損益を当期経常増減額、当期損益を当期一般正味財産増減額として読み替えています。												
4. 経営改革に関する過去3年間(平成24年度~26年度)の主な取組												
<p>自主財源の確保を図るため、収益性のあるTOEIC公開テスト運営の事業受託や語学講座における新たな言語の講座の実施など、収益の拡大と会員の増加に努めた。</p>												

II 基本方針

1. 改革の方向性
安定した経営基盤の確立
2. 主要課題
自主財源の確保に向けた取組の推進 行政と様々な国際交流団体を結びつける中核的な組織として、自立した安定的な経営基盤を確立するため、会員数の確保や自主事業の拡大に取り組むことが必要

III 重点取組

1. 事業の充実・重点化									
No	取組項目	現状	目標	—					
				—	28年度	29年度	—	31年度	
1	自主事業の改善	平成21年度41事業から平成26年度62事業に自主事業を拡大した。	安定経営を図るために、これまで拡大してきた事業の見直し検討を行う。	検討	3事業	3事業	3事業	3事業	3事業
2. 地域における公益的活動の推進									
No	取組項目	現状	目標	スケジュール					
				27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	
2	国際理解事業のための講師派遣	小中学校、地区市民センター、市民活動センター等からの依頼を受けて、国際理解事業へ外国人講師を派遣し実施している。	市民に対する国際理解講座を通して、各地域での多文化共生への理解を深める。	17講座	18講座	19講座	20講座	21講座	
3. 健全経営の維持と経営の更なる改善									
No	取組項目	現状	目標	スケジュール					
				27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	
3 (共)	市からの補助金・負担金の適正化	26年度決算 8,454千円	継続的な見直し	実施	→				
4 (共)	市からの委託料（指定管理料）の適正化	26年度決算 24,463千円	継続的な見直し	実施	→				
5	会員拡大方策に対する取組	26年度会員数 486名	31年度会員数 510名	490	495	500	505	510	
4. 組織・人員体制の強化									
No	取組項目	現状	目標	スケジュール					
				27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	
6 (共)	常勤役職員数の適正化	27年4月1日現在 7人体制	職員の適正配置	実施	→				

IV 取組内容

1. 事業の充実・重点化

No	1							
改革項目	自主事業の改善							
現状	平成21年度41事業から平成26年度62事業に自主事業を拡大した。	目標	安定経営を図るために、これまで拡大してきた事業の見直し検討を行う。					
取組	取組内容			取組スケジュール				
			27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	
自主事業の改善	自主事業の充実強化を図るため、既存事業の統廃合や新規事業を創出するための検討を行う。			検討	3事業	3事業	3事業	—

2. 地域における公益的活動の推進

No	2							
改革項目	国際理解事業のための講師派遣							
現状	小中学校、地区市民センター、市民活動センター等からの依頼を受けて、国際理解事業へ外国人講師を派遣し実施している。	目標	市民に対する国際理解講座を通して、各地域での多文化共生への理解を深める。					
取組	取組内容			取組スケジュール				
			27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	
国際理解事業のための講師派遣	ホームページ等でのPRを強化し、講座数の増加を図る。			17講座	18講座	19講座	20講座	21講座

3. 健全経営の維持と経営の更なる改善

No	3						
改革項目	市からの補助金・負担金の適正化						
現状	26年度決算 8,454千円	目標	継続的な見直し				
取組	取組内容			取組スケジュール			
			27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
市からの補助金・負担金の適正化	職員の適正配置等を踏まえた補助金の適正化を図る。			実施	→		

No	4						
改革項目	市からの委託料（指定管理料）の適正化						
現状	26年度決算 24,463千円	目標	継続的な見直し				
取組	取組内容			取組スケジュール			
			27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
市からの委託料の適正化	多文化共生・国際化推進等行政と連携を保ちつつ、協会の持つ人材や特徴を活かした効果的・効率的な事業の実施しながら、市からの委託料の適正化を図る。			実施	→		

No	5							
改革項目	会員拡大方策に対する取組							
現状	26年度会員数486名	目標	31年度会員数510名					
取組	取組内容			取組スケジュール				
			27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	
会員の拡大	語学講座受講の際に会員特典をつけることや、イベント等の事業活動の都度協会のチラシを配布するなどして、積極的にPR活動を行い会員獲得に努める。			490	495	500	505	510

4. 組織・人員体制の強化

No	6					
改革項目	常勤役職員数の適正化					
現状	27年4月1日現在	7人体制	目標	職員の適正配置		
取組	取組内容			取組スケジュール		
				27年度	28年度	29年度
組織体制の適正化	業務内容等を踏まえた適切な組織体制の構築に向け、継続的な見直しを図る。			実施	→	